

表2 平成18年3月26日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計^{*1}

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,388	446	1,834	279	694	973	1,667	1,140	2,807
	同性間の性的接触 ^{*2}	3,003	1	3,004	206	0	206	3,209	1	3,210
	静注薬物濫用	17	1	18	19	2	21	36	3	39
	母子感染	13	7	20	4	7	11	17	14	31
	その他 ^{*3}	82	29	111	22	15	37	104	44	148
	不明	480	62	542	271	488	759	751	550	1,301
	HIV合計	4,983	546	5,529	801	1,206	2,007	5,784	1,752	7,536
AIDS患者	異性間の性的接触	1,106	130	1,236	204	145	349	1,310	275	1,585
	同性間の性的接触 ^{*2}	922	1	923	83	2	85	1,005	3	1,008
	静注薬物濫用	9	2	11	17	0	17	26	2	28
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*3}	61	12	73	16	8	24	77	20	97
	不明	536	54	590	269	121	390	805	175	980
	AIDS合計 ^{*4}	2,643	202	2,845	590	280	870	3,233	482	3,715
凝固因子製剤による感染者 ^{*5}	1,417	18	1,435	-	-	-	1,417	18	1,435	

*1 平成16年までは確定値、平成17年及び平成18年は平成18年3月26日現在の速報値である。

*2 両性間性的接触を含む。

*3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

*5 「血液凝固異常症全国調査」による2004年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成18年3月31日)	213名
エイズ予防法 ^{*6} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*7}	579名

*6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*7 「血液凝固異常症全国調査」による2004年5月31日現在の報告数